



教育あがつま HOT NEWS

第 46 号
平成28年9月12日(月)
吾妻教育事務所 発行

クラス全員！誰にでも分かる授業

～ユニバーサルデザインの視点から～



最近、先生の授業が私だけでなく、みんなにとっても分かりやすくなったと思う。

「特別支援学級のAさん」

Bちゃん（特別支援学級）がみんなと一緒に授業でも主体的に活動できるようになってきたわ。変わってきたなあ～



「特別支援学級担任のC教諭」

上記2つの発言は、“誰にでも分かる授業づくり”を進める草津小学校と長野原中央小学校の**通常学級（協力学級）の授業**において聞かれたものです。分かることで生き生き活躍する子どもの姿が目に見えます。

両校の研修を基に、“誰もが分かる授業づくり”のポイントを整理しましたので参考にして下さい。

< 環境づくり >

- 学習の決まりを分かりやすく定め、継続して指導する。
 - ・「聞くこと」「話すこと」「書くこと」の決まり
 - ・持ち物や姿勢
 - ・準備する物やタイミング、不要な物の片付け、その場所…etc
- 時間差ができるので待っている間の課題を常に与え、空白の時間をつくらない。
- 教室の物品・掲示物を整理し、落ち着いて取り組める学習環境をつくる。
- 気になる子の座席（落ち着ける場所）と気になる子を助ける子の配置。

< 視覚に訴えること >

[板書について]

- 教室の後ろから見える文字の大きさ・行間になるよう配慮する。
- 授業の流れ、内容が分かる構成にする。（同じ場所にねらいやまとめを記述する等）
- チョークの色は白や黄色を主体とする。
- 色の使い方を決め、徹底する。
- 言葉の説明に、文字やイラストを添える。
- キーワードをカードにして、授業の流れの中で繰り返し活用する。
- 授業の流れを小黒板等に表示する。

< 説明時の配慮 >

※全体に指示するか、個別に支援するか判断しておくことが前提です。その上で、全体に指示する際の配慮は…

- 子どもと目を合わせながら話す。
- ゆっくり、ハッキリと話す。
- 身振りや手振りもつける。
- 指示が複数になるときは板書する。
- 説明を短く、端的に話す・示す。（大事なことだけ、2回）（一時に一事の指示）（指示内容をスモールステップにする。）
- 子どもの発言を使って授業を進める。
- 聞く時間と書く時間を区別する。

アドレナリン自己注射薬練習用トレーナー(エピペントレーナー)貸し出します。ご利用ください。

近年、アレルギーの幼児児童生徒が増加傾向にあります。アドレナリン自己注射薬（以下「エピペン」）は、アナフィラキシーを起こす危険性が高く、万一の場合、直ちに医療機関での治療が受けられない状況下にいる人に対して事前に医師が処方する自己注射薬です。管内においては、平成27年度14人の幼児児童生徒が医師より処方され、園・学校に持参しています。アナフィラキシーの進行は一般的に急速であり、エピペンがありながら幼児児童生徒が自己注射できない場合もあるため、園・学校における研修が必要かつ重要になってきます。学校での研修を進めやすくするために、平成27年度に日本学校保健会から、エピペントレーナーが各学校に1本配布されました。

今回、吾妻教育事務所において、エピペントレーナーを6本用意し、レサシアンと同様に貸し出すことにしました。園・学校全体で、または、各学年での研修で活用していただけたら幸いです。ご希望がある場合は吾妻教育事務所までご連絡ください。

(TEL 75-3370 学校教育係 大川)



～幼稚園の先生方へ～

問診票を活用してください。(園児の視力検査について)

平成26年12月11日付け健体第557-4号で通知させていただいております、「児童生徒の視力測定の手引き」につきまして、計画訪問の中でも情報提供をさせていただいております。

幼稚園における定期健康診断及び、就学時健康診断における視力検査は、弱視の早期発見と早期治療を主眼に、事前に問診票（児童生徒の視力測定の手引き、7ページ参照：H26.12.11配布）を保護者に配布し、必要事項をチェックしてもらうなど、問診票を活用する点や検査方法が変更となっております。今一度、手引きを参考にするなど共通理解をしてください。

～参考～

変更前：遮眼器を使用

字ひとつ式や字づまり式視力表を使用

変更後：検眼枠と遮へい板の使用

字ひとつ式視力表を使用

問診票を活用 等

お知らせ



今年度、原町小学校では、特別支援教育エリアサポートモデル校の指定を受け、発達障害等のある児童の理解、対応や指導の在り方等について研究に取り組み、その一環として、**教職員対象の講演会**を実施します。吾妻管内どの学校からも参加できますので、多くの方の参加をお待ちしております。

○日 時：平成28年11月16日（水）14：45～16：45

○講 師：大阪大学大学院 和久田 学 先生

「子どもの行動を育てる～科学的・戦略的な支援のあり方～」（仮）

※詳細については後日、案内が各校へ送られます。（9月下旬）